

社会背景・環境，今後の見通し及び重点課題について

- ・ 産業・経済の分野において重視すべき社会背景や環境，今後の見通し等を検討するため，環境分析（「SWOT [強み・弱み・機会（追い風）・脅威（向かい風）] 分析」）を実施した。
- ・ これを踏まえて，分野における重点課題を検討した。

1 地域産業の創造性・発展性に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 企業活動のグローバル化の進展など経済環境の変化により，地域間格差が拡大しているが，本市では，有数の大企業の工場が多数立地し，モビリティ産業や高度技術産業の集積が進んでいる。
- 地域産業の競争力の強化が求められる中，地域の産業特色が目立たないことや，認識・PRが不足していることなどにより，地域間競争に対応できる産業集積が十分に進んでいない。
- 技術革新のスピードが増し，かつ，差別化できない製品の競争力の低下が著しい中，産業間連携や産学官連携等による新技術・新製品開発に関する取組が希薄である。

【重点課題】

成長産業の集積促進，企業立地の促進，立地企業への支援などにより，地域特性を活かした工業集積の促進を図り，地域経済の自立的発展を支えとともに，地域間競争に対応できる産業の振興を図ること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 高齢化や人口減少社会の到来が新規開業や新事業創出の担い手減少へとつながることが懸念される中，事業所新設率も減少してきている。
- 市内には複数のインキュベーション施設が整備されているとともに，複数の支援機関により様々な支援が実施されているなど，ハードとソフトの両面において，支援機能が充実している。
- 2007年問題により市場に輩出される経験豊かなOB人材や，首都圏からのUターンなどを希望する人材の活用が課題となる中，新規開業等の担い手として育成支援する施策が必ずしも十分ではない。

【重点課題】

新規開業や起業家への支援充実などにより，新規開業・新事業創出の促進を図り，市民や企業の新事業への取組を増やすこと

〔環境分析3〕（主なもの）

- 少子高齢化の進展に伴い，労働力人口の減少が見込まれる中，意識やライフスタイルの変化などにより，労働力全体に占める女性の割合は年々増加している。

- ハローワークをはじめとする職業紹介や斡旋を行う機関が集積しており、総合的な就業支援や若年者に対する就業支援策が充実したとちぎ就職支援センター等の施設も所在している。
- 市内の工業団地に立地する製造業を中心に大きな雇用の受け皿があるなど、本市を含めたハローワーク宇都宮管内や県内の有効求人倍率は、全国的に見ても高い数値で推移しているが、一方で、派遣社員などの非正規社員の雇用が増加し、正規社員の求人については、依然として厳しい状況が続いている。

【 重点課題 】

就業支援の充実，雇用支援の充実，労働環境の向上などにより，就業・雇用環境の充実を図り，求職者の雇用が確保され，能力を発揮しながら安全に生きいきと働けるようにすること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 恵まれた自然条件を備えていることから，多様な農産物を生産することができる。
- 直売所や量販店の地元農産物コーナー等の増加から，地元農産物が求めやすくなってきている。
- うつのみや野菜ハイウェイシステム等により，学校給食における地元農産物の使用率が増加傾向にある。
- 海外からの農産物の輸入増加や大量生産・広域流通などから，生産者の顔が見えず，消費者と生産者の距離が拡大している。
- 偽装表示や残留農薬等の問題から，食の安全・安心に対する関心が高まっている中，生産者の顔が見える直売所等での消費者ニーズの把握や情報の発信，生産者と消費者のコミュニケーション機会が，不足している。

【 重点課題 】

地産地消の推進を図り，生産者と消費者との相互理解を促進するとともに，食と農が結びついた豊かな地域社会をつくり上げること

2 商業・サービス業・工業に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 大型店と商店街、商店街同士などの共同事業実施の動きがみられるが、消費者の志向や動向の把握・分析が不十分である。
- 餃子店の集積により集客力が高く、また、ジャズなど商業以外の主体との連携事業が増加する中、まちなかの快適な歩行空間や動線の整備が遅れている。

【重点課題】

立地条件を活かして商店街の魅力向上や機能強化を図るとともに、地域資源を活用した文化、コミュニティなどとの連携を促進することにより、ニーズに対応した商店街としての活力を高めること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 国際間や地域間競争が激化する中、本市では、産業支援機関、高等教育機関や工業団地が集積しているが、一方では、高度技術開発、先進的な企業経営や地域産業を担う人材が不足している。

【重点課題】

高度技術開発の促進、先進的な企業経営の促進、地域産業を担う人材の育成などにより、経営・技術革新の促進を図り、時代潮流の変化に的確に対応しながら、中小企業が持続的に発展していくこと

〔環境分析3〕（主なもの）

- 金融不安や厳しい経済環境の中、本市では、各種の融資制度など支援が充実しているが、一方で、中小企業は、業者間の価格や技術等の競争の激化、事業主の高齢化や後継者不足なども影響し、厳しい経営環境となっている。

【重点課題】

金融支援の充実、経営相談・情報提供の充実、業界内・異業種間交流の促進などにより、安定した経営基盤の確立を図り、中小の商業・サービス業が、地域間、企業間競争に対応し、安定した経営を行うこと

〔環境分析4〕（主なもの）

- 「食育」や「地産地消」などの推進を背景に、消費者の食に対する関心や、少量多品目を求める声が高まる中、より付加価値の高い食材が求められるようになり生鮮食料品の流通拠点としての卸売市場の存在が見直されている。
- 昨今は、景気回復の兆しが見られるようになったとはいえ、大型店の産地直送など市場外流通の増加等により取扱量が逡減している。

- 食品の安全性に対する信頼回復が求められる中、市場は食品の安全性検査や施設の衛生管理及び消費者のニーズを踏まえた取扱品目の充実を図るなど市場関係者の努力により、市場経由の生鮮食料品が最も安全・安心だと小売業界からの信用も非常に高いものがある。
- 市場の更なる活性化のための環境整備が求められているが、開場後32年を経過し老朽化・旧式化が進んできている。

【 重点課題 】

市場機能・施設整備の充実，流通業務の効率化などにより，市場機能の充実を図り，消費者ニーズの多様化に応じた青果物，水産物を安定的に供給すること

3 農林業に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 耕地面積に占める水田の割合が高く、圃場整備も進んでいる。
- 農家戸数の減少とともに、担い手の不足などにより、安定的で持続的な水田農業が困難になりつつある。
- 国の政策において、担い手への農地の集積など、水田農業の構造改革が推進されているが、本市では、兼業農家による自己完結型の水田農業が依然として多く、水田農業の収益性が低下している。

【重点課題】

地域農業の担い手の育成・確保や、新たな地域営農システムの構築などにより、安定した経営基盤の確立を図り、水田農業を振興すること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 消費者の多い首都圏や都市近郊に位置する地理的優位性を有し、多様な農産物が生産できるなどの恵まれた自然条件を備えている。
- 市場評価の高い宇都宮牛、プレミアムトマト・梨があるが、知名度が低く、ブランド力が弱い。
- 果樹は定植から結実までのサイクルが長期間に及ぶため、高齢者や後継者のいない生産者は規模拡大に踏み切れない。

【重点課題】

農産物のブランド化や、園芸作物の産地力の強化などにより、農産物の産地間競争力の向上を図り、産地間競争に打ち勝つ農産物の生産振興を図ること

〔環境分析3〕（主なもの）

- 本市の農村地域は、恵まれた自然環境や独自の伝統文化などを有している。
- 本市の農村地域では、農家戸数の減少とともに、都市化や混住化が進行し、農村コミュニティ内の連携が希薄となり、活力が低下している。
- 都市住民の農業・農村に対する期待や関心が高まっているなか、本市における農業体験や農村体験など、都市と農村との交流の機会が不十分である。

【重点課題】

伝統文化の継承や環境の保全など、農村地域に潜在するさまざまな機能や資源を生かし、地域内の連携強化を推進するとともに、都市との交流を促進し、農村地域の活力を高めること

〔環境分析4〕（主なもの）

- 森林の保全や有機栽培、環境保全型農業に対する市民の関心が高まるとともに、「農」の持つさまざまな機能が見直される中、環境保全型農業に取り組むエコファーマーが増加している。
- 農村地域の混住化や高齢化などにより、農資源の適正な維持管理や、環境に配慮した営農活動が難

しくなっているが、一方で、地域において、農業者とそれ以外の地域住民が一体となり、農資源の良好な保全や環境に配慮した先進的な営農活動を行う組織が設立されつつある。

【 重点課題 】

環境保全型農業の推進，適切な森林整備などを図り，環境と調和した農林業を推進すること

4 魅力ある観光と交流に関すること

〔環境分析1〕（主なもの）

- 人とのふれあいや体験を通じた観光ニーズが増加している中、来訪者の受入態勢や、案内・誘導システムが構築されていない。
- ボランティア活動への市民の関心が高まる中、観光ボランティアガイドの体制が十分には整っていない。
- 本市の観光資源に対する市民意識が低く、かつ来訪者に対する市民のおもてなし意識が十分には醸成されない中、本市PRに貢献するくちコミ特派員やおもてなしリーダーが増えている。

【重点課題】

市民の観光意識啓発、おもてなし体制の充実、観光情報発信の充実などにより、「おもてなし」に対する市民意識の向上を図り、来訪者に「来てよかった」、「また訪れたい」と感じさせることのできる受入態勢を整えること

〔環境分析2〕（主なもの）

- 本市は、県内に訪れる観光客の交通拠点であるにもかかわらず、本市の拠点性や地理的優位性が十分生かされず、単なる通過地となっている。
- 「餃子」をきっかけに本市知名度が高まりつつある中、本市を効果的に宣伝する総合的なセールスツールが不足している。

【重点課題】

観光資源の活用や独自の観光スタイルの創出などにより、観光面でのイメージアップを図り、本市の様々な観光資源を活かしながら、観光入込客数を増加させること